

# 独立行政法人国立病院機構米子医療センター

大西 直己 (おおにし なおみ) 株式会社ジャスタウェイ 代表取締役

家庭用でIHクッキングヒーターの普及が進むなか、業務用でも電化厨房に注目が集まってきている。病院、福祉施設、給食センター、飲食店…厨房環境の改善やコントロールの容易さなど、より良い厨房を目指した取り組みが進んでいる。これら電化厨房の事例をシリーズで紹介していく。今回は「病院」の事例を取り上げる。

## 1. はじめに

独立行政法人国立病院機構米子医療センターは、鳥取県西部の米子市に位置し、昭和13年に姫路陸軍病院皆生臨時分院として設置以来、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、献腎移植施設、非血縁者間骨髄採取・移植施設等の指定を受け、地域の中核病院として重要な役割を果たしている。

この度、病院施設の老朽化やがんの集約的治療・腎センター等の高度医療に対応するため、平成26年6月の新病院開院に向け、新築工事が開始された。

新病院建設に合わせ、厨房設備においても患者サービスの向上、より高度な衛生管理の徹底、厨房スタッフの労働環境改善を目的として、オール電化厨房とクックチルシステムを組み合わせた厨房システムの導入を図ることになった。

## 2. 施設の概要

名称	独立行政法人 国立病院機構米子医療センター
所在地	鳥取県米子市車尾4丁目17番1号
建築面積	4,611 m <sup>2</sup>
延床面積	19,969 m <sup>2</sup>
構造規模	鉄骨・鉄筋コンクリート造 地上8階
病床数	270床
工期	平成24年6月14日～平成26年12月
設計・ 施工監理	株式会社中林建築設計事務所
施工	建築：株式会社奥村組 設備：株式会社三晃空調 厨房：株式会社フジマック

## 3. 厨房設備・運用概要

食数	200食/回
厨房面積	約480 m <sup>2</sup>
主要厨房機器	スチコン10段×3台 ブラストチラー10段×3台 全自動炊飯システム(6釜) コンベア式洗浄機×1台 バッチ式洗浄機×1台 製品保管室×1か所
調理方式	クックチル+クックサーブ
クックチル生産日	3日/週
クックチル数	4品/日(朝1、昼1、夕2)